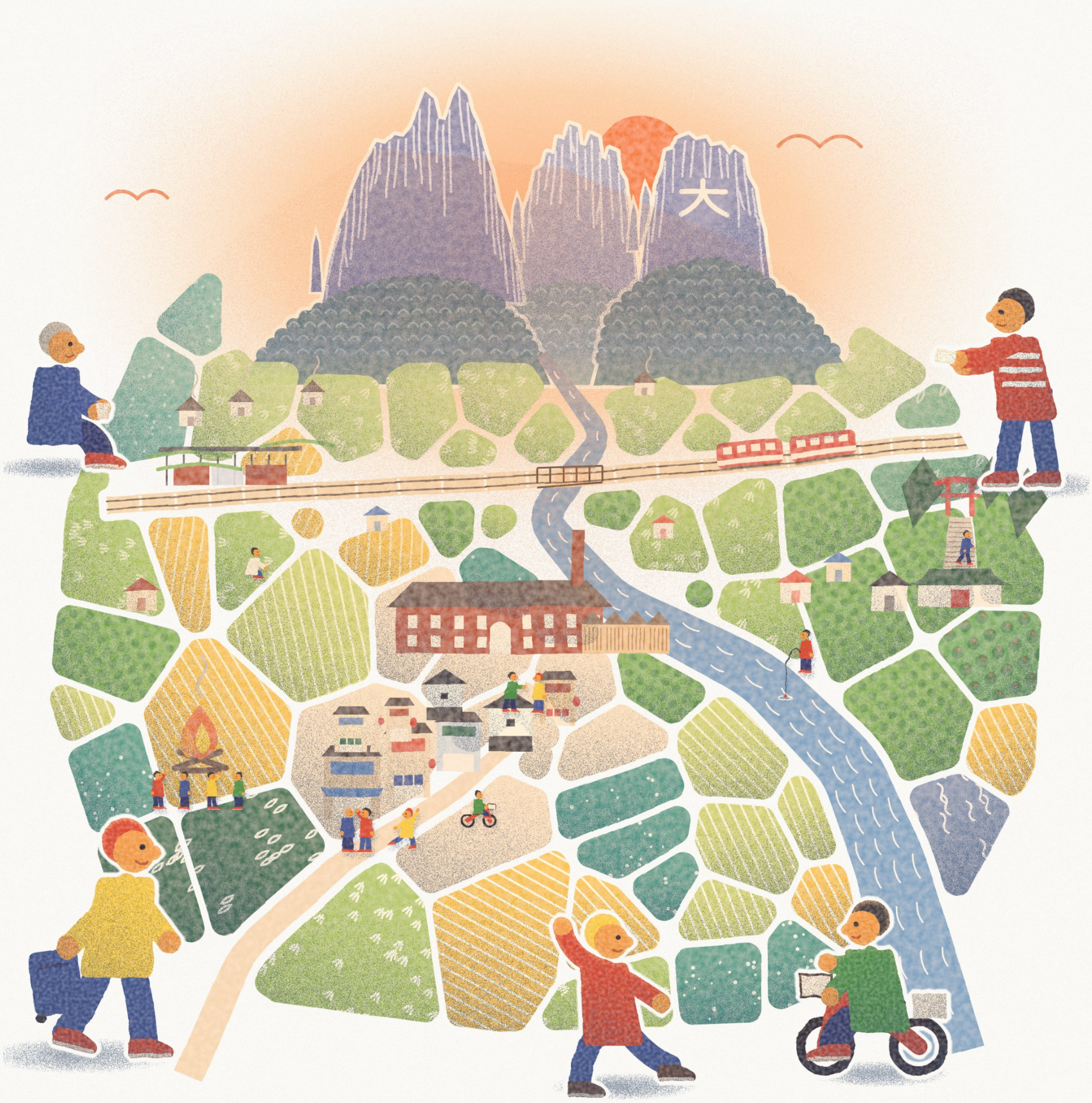
富岡まなびステイ

TOMIOKA LEARNING STAY

群馬県富岡市
まちに混ざって泊まる、地域留学



はじめましてが、
「おかえり」になる旅。

妙義山のふもとの暮らし、製糸場、商店街の店先。
群馬県富岡市のふだんの暮らしに「旅人」として、しばらく混ざってみる。
自分の問いを持って過ごす「地域留学」です。

一年中、相談できます。

自分と出会いなおす「地域留学」
富岡まなびステイ
TOMIOKA LEARNING STAY

富岡まなびステイ

群馬県富岡市
まちに混ざって泊まる、地域留学

ABOUT

自分の問いを持って、富岡の暮らしに混ざる。

旅人とは

問いを持って富岡に学びにやってくる人のことを「旅人」と言います。問いは立派でなくて大丈夫です。

なにをするの

商店街の店先や毎週の小さな飲み会、地域の行事に加わり、問いを手に人に会い、話を聞きます。気づいたことは「滞在レポート」にまとめて、まちの人たちへ発表します。

日数のこと

まなびステイの手ざわりは、1泊ではなかなか見えてきません。何度か顔を合わせるうちに、まちの人の顔と名前がつながっていきます。日数は、相談しながら一緒に決めます。

ふたつの来かた TWO WAYS TO STAY

自主まなびステイ

一年中、相談できます。

まちの暮らしに、思い立ったときに混ざりに来てください。行ってみたい時期や、気になっていることを教えてもらえれば、一緒に滞在を考えます。滞在費は自己負担です。

公募のまなびステイ

毎年9月ごろ、3名を募集します。

富岡市観光協会の事業です。全国から旅人を3名程度募り、最長6泊7日。初日の入学式から最終日の卒業式まで、まちで過ごします。滞在費の一部を補助します。

滞在のながれ HOW IT GOES

01

相談する

まずは気軽に連絡を。オンラインで顔を合わせて、一緒に滞在を考えます。

02

入学式

初日はまちのみんなで歓迎。あなたの関心を、まちの人に紹介します。

03

まちを探索する

問いを手に、人や場所を訪ね歩く。行事にもどんどん飛び込みます。

04

卒業式

最終日に、気づいたことをまちの人に発表します。後日オンラインでも。

先輩の旅人たちの探究テーマ TRAVELERS

「居心地の良さって、
どうやってつくられて
いるんだろう？」

ななちゃん（大学生）

「知らない土地で、
風景を撮るって
どういうことだろう？」

はっしー（写真家）

「富岡は、なぜ誰もが
関われる、応援される
まちになっているんだろう？」

にしはる（会社員）

テーマがまだぼんやりしていても大丈夫。「なんとなくモヤモヤしている」からでも、一緒に滞在を考えます。

相談を受けとめる人たち

入山 寛之
洋品店いりやま

岡田 大輔
岡田新聞店

齋藤 隆夫
カメラマン

まちのみなさん
げつのみや行事で会えます

もっと詳しく

公式サイト　げつのみ　note みんとみ

相談・お問い合わせは公式サイトから
workarts.co.jp/manabistay

主催　一般社団法人 富岡市観光協会 ｜ 洋品店いりやま ｜ 岡田新聞店 ｜ ワークアーツ合同会社